



志村学園

令和8年2月2日
東京都立志村学園
校長 並木信治
高等部就業技術科
第10号

春の気配とともに

副校長 加部 務



間もなく立春を迎えます。厳しい寒さが続く中にも、少しずつ春の気配が感じられるようになってまいりました。

立春は新しい季節の始まりを告げる節目です。学校でも、本年度のまとめを進めながら、次のステージに向けた準備が本格化してくる時期となりました。生徒は、それぞれの学びを振り返り、卒業や進級に向けて気持ちを整えていきます。

3年生は、卒業式を含めて登校日数が残り32日となりました。卒業を前に、不安と期待が入り混じる時期かと思いますが、

これまで志村学園で培ってきた力を信じ、それぞれの進路実現に向けて一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。そして、職業に関する教科や部活動で築いてきたものを是非、後輩へと引き継いでください。

2年生は、修学旅行を無事に終えることができました。仲間とともに過ごす中で、多くの経験を積んだこと思います。4月からは最上級生として、学校を支える立場になります。今回の経験を今後の学校生活に生かし、自覚と責任をもって行動してくれることを期待しています。1年生は、4月から新しく後輩を迎えます。この1年間の学びを振り返り、自分で考えて行動する力を育んでほしいと思います。また、系列選択を機に自身と向き合い、可能性をさらに広げてほしいと願っています。

年度末は、心身ともに変化が多い時期です。生徒一人一人が安心して学校生活を送れるよう、引き続き努めてまいります。今後とも、教育活動への御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。

書初め会

国語科担当 茶木 浩美

新年最初の登校日、1月8日(木)に毎年恒例の書初め会を実施いたしました。

1年生は「自立の道」、2年生は「希望の光」、3年生は「継続は力」の校歌や校訓にちなんだ課題です。それぞれのお手本に向き合い、自分と向き合いながら丁寧に慎重に集中して筆を進めていました。

今年度も大東文化大学より3名の講師の先生方をお招きして御指導いただきました。先生方の具体的で分かりやすい説明を聞き、流麗な筆さばきを目の当たりにして、より一層、良い作品にしようと意欲的に取り組む生徒の姿がたくさん見られました。令和8年、新しい年の新たな気持ちがこもる素晴らしい作品の数々が仕上がりました。

生徒が書き上げた素敵なお手本はクラスで掲示した後、御家庭に持ち帰ります。ぜひ、心のこもった作品を御家庭でじっくり御覧いただき、あふれる気迫を感じ取ってください。



第2学年長崎修学旅行 <スローガン> ~絆~ 最高の思い出を作ろう!

2学年修学旅行担当 上原 文典

就業技術科2年生は、1月21日(水)から23日(金)の2泊3日で長崎へ修学旅行に行ってきました。

1日目は、平和学習として長崎観光のバスガイドさんの説明を聞きながら平和公園、被爆遺構、原爆資料館を見学後、被爆者体験講話を拝聴しました。講話者からは当時長崎で何が起きたのか、戦争の恐ろしさ、今の世界情勢について生徒に具体的な言葉で丁寧にわかりやすく伝えいただきました。また、講話を通じて印象に残った言葉が2つありました。「平和のバトンを受け取って欲しい」、「長崎を最後の被爆地に」という言葉です。当時を知る講話者だからこそ表現できる言葉とその言葉に秘められた想いに生徒も教職員も心を打たれました。最後に事前学習で作成した千羽鶴を講話者の方に寄贈し、平和への願いを被爆地に届けるとともに生徒も教職員も平和のバトンを受け取り、その地を跡にすることができました。

2日目は、午前は、長崎市内のクラス別行動でした。途中で雪が降り始めましたが、すぐに止み、その後は晴天に恵まれました。出島、グラバー園、眼鏡橋等を市電や徒步で巡り、長崎の歴史や文化に触れることができました。午後は、ハウステンボスに行き、グループ別行動とイルミネーション見学を行いました。生徒たちは様々なアトラクションを体験し、楽しみました。イルミネーションは園内全体の幻想的な光が素敵な思い出となりました。

3日目は、環境学習の一環でハウステンボスの環境設備見学をしました。ハウステンボスで30年以上前から取り組んでいる自然とともに生きるための技術(環境共生型)について施設見学と座学を行いました。その後、九十九島パールシーリゾートに行き、九十九島水族館海きららを見学しました。約13000匹展示されている九十九島に生息する魚たちや、色とりどりのカニ、貝、クラゲを間近で見学して楽しむことができました。

生徒たちは、平和学習を通じて戦争の歴史を深く考えました。長崎巡りを通じて長崎の伝統や文化に触れることができました。仲間とのコミュニケーションを大切にして主体的に行動し、絆を深め、高校生活の最高の思い出を作ることができました。今回の経験を今後の学校生活に生かし、より一層充実したものにしていきましょう。



フレッシュマンズ講座

3学年進路担当 小林 桃華

第3学年では、社会人として必要となる知識やマナーを身に付けることを目的に、「フレッシュマンズ講座」を授業の中で実施しています。生徒が4月から新社会人として良いスタートを切れるよう、これまでに、ストレスへの向き合い方を学ぶ「レジリエンス」、スーツの選び方や着こなしを扱う「ビジネススーツについて」、そして通勤寮やグループホームを知る「通勤寮について」の3つの講座を、専門の講師の方をお招きして行いました。1月に実施した「ビジネススーツについて」では、株式会社コナカ様から2名の講師の先生をお迎えし、ビジネスマナーについて分かりやすく御指導いただきました。

講座を通して、働く上で大切な心構えや、在学中に身に付けておくべきことを具体的に理解することができ、生徒たちは卒業後の生活をより明確にイメージできるようになりました。また、代表の生徒が実際にスーツを試着し、着こなしのポイントを直接教えていただく貴重な体験の場ともなりました。卒業までには、さらに3回の講座を予定しています。生徒たちが社会に出る準備をしっかりと整え、素敵な社会人として羽ばたいていくことを願っています。



第11回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権大会

サッカー部顧問 出野 裕也

令和8年1月24(土)・25(日)に静岡県藤枝市藤枝総合公園サッカー場で第11回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権大会が開催されました。本校は、前回大会で2018年以来となる3度目の優勝を果たし、「2連覇」を目標に大会に臨みました。今年度は、「愚直さ、戮力協心(りくりょくきょうしん)」というコンセプトのもと、試合に出る選手、サポートメンバー、スタッフが目標に向かって心を一つにして戦いました。

グループリーグ初戦では、三重県立杉の子特別支援学校石薬師分校と対戦しました。試合開始から得意とする攻撃をリズムよく展開し、1年立岡さんの得点を足掛かりに得点を重ね、11-0と勝利しました。2戦目は、兵庫県立高等特別支援学校と対戦しました。試合序盤から相手の積極的な守備に苦しむ場面が多い試合となりましたが、失点することなく前半を0-0で折り返しました。後半に入って3年長坪さんのコーナーキックから先制点を奪いましたが、その後相手に1点を返され、更に相手コーナーキックから逆転のゴールを奪われました。最後まで諦めることなく、ゴールを目指して戦いましたが終了のホイッスルが鳴り1-2で敗戦となりました。この結果、グループリーグ2位が決定し、大会2日目は5・7位順位決定戦にまわることとなりました。2連覇への道が断たれ、気持ちを切り替えるのが難しい場面を迎ましたが、敗戦後にも相手を称える選手たちの姿に成長を感じられました。

順位決定戦は、前回大会でも対戦した岐阜県立可茂特別支援学校との対戦となりました。可茂特別支援学校は、グループリーグで今大会優勝の鹿児島城西高等学校と一進一退の試合を繰り広げたチームです。試合は、相手の攻撃に耐える時間が長い展開となりましたが、一瞬の隙をついて2年坂本白さんがミドルシュートを決めて先制しました。その後は、相手に10本以上のコーナーキックを与えるなど、再び苦しい展開が続きましたが、まさに「愚直さ」を体現するような守備でしのぎきり1-0で勝利しました。優勝の懸からない最後の一戦でも、後輩のため、応援してくれる人のために鬼気迫る様子で奮闘する3年生の姿は多くの感動を与えてくれました。

当日は、多くの保護者の方や御家族、OB、先生たちの応援があり、熱いエールをいただきました。また、速報を気にしながら静岡へ熱い思いを届け続けてくれた方もたくさんいらしたと聞いています。サッカー部を応援してくださいました全ての方に感謝いたします。応援ありがとうございました。

第11回全国知的障がい特別支援学校高等部サッカー選手権大会 結果

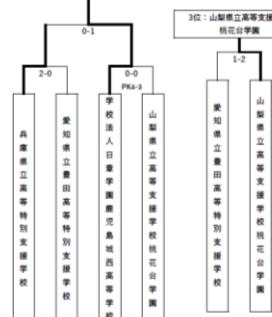
AU-1ヶ

	兵庫高等	杉の子石薬師	志村学園	勝ち点	得失点	総得点	順位
兵庫高等		3-0 ○	2-1 ○	6	4	5	1
杉の子石薬師	0-3 ●		0-11 ●	0	-14	0	3
志村学園	1-2 ●	11-0 ○		3	10	12	2



優勝：学校法人日章学園鹿児島城西高等学校

準優勝：兵庫県立高等特別支援学校



3位・7位決定戦

東京都立志村学園 1-0 岐阜県立可茂特別支援学校

北海道札幌あいの里高等学校 0-4 兵庫県立西神戸高等特別支援学校

9位・11位決定戦

三重県立杉の子特別支援学校石薬師分校 4-2 静岡県立藤枝特別支援学校焼津分校

東京都立南大沢学園 1-0 岐阜県立希望が丘高等特別支援学校

